

# 日常生活の指導 学習指導略案

あさひ学級3組 6名 指導者 上唐湊 武

本授業は、以下の検証を行うものである。

- 子ども一人一人が活動の見通しをもつことができる内容であったか。
- 子ども一人一人が自発的に活動できる内容であったか。

## 1 題 材 進んで楽しく活動しよう

### 2 題材について

#### (1) 題材の価値

本学級においては、1校時に「日常生活の指導」の時間を帯状に設定し、朝の会を中核に据え、様々な指導を展開している。

本題材は、子どもたちが朝の会をはじめとする様々な活動や役割を行う中で、学級の一員として大切な役割を果たすことから効力感を感じたり、活動における自分の成長や上達から成就感や満足感を得たりするという点で、1日のスタートの1校時に設定できる格好の題材といえる。また、毎日、一定時間にほぼ同じような活動を繰り返し行うので、子どもたちは自分の課題をより理解しやすくなり、その課題に取り組むことにより様々な力を獲得していくことができる。

例えば、子どもたちは日にち、天気や毎日黒板に書かれた教師からのメッセージ（モーニングメッセージ）を読む活動を行っている。その後、大型カレンダーで昨日の行事を振り返ったり、その日や数日後に控えている活動への見通しをもったりすることができる。また、カレンダー学習では「おととい」「きのう」「きょう」「あした」「あさって」「しあさって」のカードを貼ることで、子どもたちは時系列的な感覚を身に付けたり、日にちの用語を理解したりすることができる。他にも、挨拶の仕方や言葉づかいを身に付けること、集団での決まりを学ぶこと、当番活動における自分の役割を果たすこと、身辺処理ができるようになることなど、様々な力を身に付けていくことができる。そして、子どもたちはみんなできいきと楽しく活動することにより、主体的に活動し、共に学び合い関わり合う中で、基本的な生活習慣の定着を図り、豊かに生きる力を育てていくことにつながるものと考えられる。

#### (2) 子どもの実態

子どもたちは、この題材における活動や役割を繰り返し行う中で、各自の課題を一つずつ解決している。この題材における子どもたちの現段階での主な課題は次の通りである。

児童(学年)	性別	主 な 課 題
A児(1年)	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 落ち着いた態度で、教師や友だちの話を最後まで聞くことができる。</li> <li>○ 見通しをもって、当番活動を最後までやり遂げることができる。</li> <li>○ 平仮名の拾い読みをすることができる。</li> </ul>
B児(3年)	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見通しをもって、当番活動を最後までやり遂げることができる。</li> <li>○ 平仮名で書かれた文を読み、内容を理解することができる。</li> <li>○ 相手に自分の要求を伝えることができる。</li> </ul>
C児(3年)	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 席に座り一定時間集中して課題に取り組むことができる。</li> <li>○ 声の大きさや言葉遣いに気を付けながら、友達の前で話すことができる。</li> <li>○ 相手の反応から感情を考え、関わるることができる。</li> </ul>
D児(3年)	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会順を覚えて、会を進行することができる。</li> <li>○ いろいろな生活場面でのきまりを理解して行動できる。</li> <li>○ 場に応じた音量で話すことができる。</li> </ul>
E児(4年)	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 席に座り一定時間集中して課題に取り組むことができる。</li> <li>○ 見通しをもって、当番活動を最後までやり遂げることができる。</li> <li>○ 場に応じた音量で話すことができる。</li> </ul>
F児(6年)	男	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友達の当番活動の進め方を教えて手伝うことができる。</li> <li>○ 相手が聞き取れる程度の適度の速さと音量で話すことができる。</li> <li>○ 相手の話を最後まで聞き、相手に自分の要求を伝えることができる。</li> </ul>

#### (3) 指導に当たって

子どもたちが各自の課題を解決できるように、繰り返しの活動を設定するとともに、称賛を十分に行うようにする。また、繰り返しの活動に当たっては、子どもたちが具体的にめざす姿が分かるようにするとともに、活動内容に広がりや深まりをもてるように徐々に変えるようにする。

### 3 年間目標

- (1) 楽しい雰囲気の中で活動することにより、学級の一員としての役割を果たす喜びをもつとともに、今日の日やこれからの生活に楽しみや見通しをもつことができるようにする。
- (2) 割り当ての当番活動を進んで果たしたり、活動への取組の充実を図ったりすることができるようにする。
- (3) 場面に応じた挨拶や、他社とのやりとりができるようにする。
- (4) 文字・文章・数・音楽に親しみ、関心をもつことができるようにする。
- (5) 時間や時刻が分かり、「今日、明日、明後日、昨日、今週、来週、再来週、先週」などの時を表す言葉を分かることができるようにする。
- (6) 話す、聞くなどの学習の基礎を身に付けることができるようにする。

### 4 指導の実際

[ ] 子どもの意識     教師の手立て    ※評価

時	主な学習活動と教師の手だて・評価	
10	1 朝の会をする。 (1) 朝の挨拶をする。 (2) 健康観察をする。 ・元気よく挨拶するぞ。 ・〇〇くんは大きな声だな。 僕も大きな声で挨拶するぞ。	名前を呼ばれたらはっきりと返事ができるように「大きな声で『はい』と返事をしようね。」と声掛けをする。 ※ よい姿勢で挨拶をしたり、言葉のやりとりをすることができる。
	(3) 今月の歌を歌う。 ・歌を歌うのは楽しいな。 ・先生のようにはっきり歌うぞ。 ・今日はどの楽器を使おうかな。	大きな声と笑顔で歌うことができるように、教師自らが、大きな声で歌う。 ※ 大きな声と笑顔で歌うことができる。
35	2 今日の当番活動を確認して、自分の当番活動をする。 ・当番活動を最後までがんばろう。 ・当番活動が終わったから、先生に「終わりました。」と伝えよう。 ・〇〇君の当番活動を手伝おう。	子ども自らが当番活動を進めることができるように、活動の様子を撮った写真と活動内容を文字で表したカードを用いる。 当番活動が終了した際は、教師に「終わりました。」と伝えることで、活動と活動の区切りをつけることができるようにする。教師は、「やったマーク」を子どもに与え、活動終了の達成感をもつことができるようにする。 ※ 進んで当番活動に取り組むことができる。
	3 モーニングメッセージを読む。 ・今日は6月3日金曜日だ。 ・雨の降る心配はないぞ。 ・この後の天気はどうなるかな。 ・間違えないで読めるかな。 ・大きな声で元気に読むぞ。	子どもたちが今日の日付などを理解できるように、一人一人が読むことができるようにする。 音読に対する自信が深まるように、よかったところを話し、大いに称賛する。 ※ 正しく音読したり内容を理解したりすることができる。
	4 大型カレンダーや時間割表で一日の見通しをもつ。 ・今日も一日がんばろう。 ・2時間目は〇〇があるな。 ・来週は何があるのかな。	今日の予定や一週間の楽しみや見通しをもつことができるように、時を表す言葉のカードを貼って、時間割を確認する活動を設定する。 ※ 「きょう」「あした」などのカードを所定の場所に貼ることができる。
	5 集中タイムで各自の課題する。 ・宿題が全部できてうれしいな。 ・今日は、〇〇のプリントをするぞ。 ・ここが分からないから、先生に聞いてみよう。	全員が集中して学習できるように、各自の実態にあった学習内容を設定する。 ※ 課題をやり遂げることができる。
	6 次の学習の開始時刻を確認する。	次の学習開始時刻を確認できるように、模型時計を準備し、開始時刻を表す活動を設定する。 ※ 次の時の学習の準備をすることができる。